**火薬類消費計画書（煙火）**

１　消費の方法

　(1) 煙火置場の有無（有の場合は位置構造等）

　　□　有・□　無

|  |  |
| --- | --- |
| 位　置 | 別紙１のとおり |
| 構　造 | □　小屋組　　　　□　テント張り　□　シート張り□　有蓋車　　　　□　その他（　　　　　　　　　　　　） |
| 容　器 | □　木製　　　　　□　段ボール　　　□難燃性・不燃性容器□　その他（　　　　　　　　　　　　） |

　(2) 点火の方法

|  |  |
| --- | --- |
| 方　法 | □　電気　　□　焼き金　□　ロー火　□　導火線・速火線□　その他（　　　　　　　　　　　　） |

(3) 防護措置（有の場合はその方法）

　□　有・□　無

|  |  |
| --- | --- |
| 方　法 | □　畳　　　　　　□　鋼板　　　　　□ヘルメット等□　その他（　　　　　　　　　　　　） |

　(4) 消費の順序

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 打揚煙火 | 仕掛煙火等 | その他 | 備考 |
| 号数 | 数 |
| ：　～　： |  |  |  |  |  |
| ：　～　： |  |  |  |  |  |
| ：　～　： |  |  |  |  |  |
| ：　～　： |  |  |  |  |  |

　(5) 消費場所の見取図・警戒区域図

　　　別紙２のとおり

(6) 煙火の固定方法

別紙３のとおり

２　取扱う者の氏名

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 | 生年月日又は年齢 | 住　　所 | 手帳 |
| 有 | 無 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

注　氏名欄には、統括責任者に○印、煙火置場の見張り人に△印を記載すること。なお、小規模で兼務する場合は◎印を記載すること。

煙火消費手帳のない者については、業務内容に応じた保安教育を行うこと。

「別紙のとおり」も可？？

あまり詳細に書くと訂正が困難

３　煙火の製造業者の氏名又は名称

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名又は名称 |  |

４　危険区域内に入る可能性のある関係者の氏名（取扱う者を除く）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所属 | 氏名 | 手帳 |
| 有 | 無 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

注　煙火消費手帳のない者については、業務内容に応じた保安教育を行うこと

別紙１

煙火置場の位置・構造

|  |
| --- |
|  |

以下の状況が分かる図面とすること。

・煙火置場が、打揚筒の設置場所、仕掛煙火の設置場所及び火気を取り扱う場所に対して２０ｍ以上距離をとられていること。

・見張人がいること。（煙火置場に煙火及び煙火の打揚等に使用する火薬類を存置する場合には、見張人を常時配置すること。）

・日光の直射、雨露を防ぐ措置がとられていること。

・警戒札の位置及び内容

別紙２

消費場所の見取図、警戒区域図

|  |
| --- |
|  |

以下の状況が分かる図面とすること。

・安全な距離が取られていること

・直径３ｃｍ超を打ち上げる場合、関係人との隔離距離

・警戒区域の設定方法として柵、ビニールシート、人が一定間隔に立つ、海上であればブイ、巡視船や陸上からの監視等の方法

・警備が付く場合は配置

・警戒区域の設定時間

・水消火器、バケツ等の設置状況

別紙３

　煙火の固定方法

|  |
| --- |
|  |

消費する煙火の種類に応じた固定方法が分かる図とすること。